

富士見市公民館運営審議会議事録

開催日時	平成28年11月16日（水）午後7時00分～8時30分
会場	水谷公民館 講座室
出席者	瀬戸 篤 山川亜紀子 長ヶ原美博 佐野正幸 中 正美 吉川英亨 高橋康子 横谷希己江 山本百合子 関根健一 田中洋子 尾形忠男 浅見隆志 本田和子 （以上14人） 鶴瀬公民館長 南畑公民館長 水谷公民館長 水谷東公民館長 鶴瀬公民館事務局担当 （合計19人）
欠席者	是永国彦 川端正則
会議録確認	中 正美 議長
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議内容	
<p>1、 あいさつ 中 正美 議長</p> <p>2、 報告事項 (1) 平成29年度予算要求状況について (各館長から各館の特徴点を説明、内容は以下のとおり)</p> <p> ①鶴瀬公民館 ○一般事務費 ・公用車（現車は14年目）の購入 ・電話機（現機は26年目）の新規リース ・ホール機材の入替え ○公民館施設維持管理事業 ・キュービクル更新工事の終了などによる減額 など</p> <p> ②南畑公民館 ○施設維持管理 ・樹木剪定、陶芸窯修繕、会議室椅子の買換え ○公民館学級講座等開催事業 ・家庭教育支援事業、まちづくり支援を強化 など</p> <p> ③水谷公民館 ○公民館施設維持管理事業 ・キュービクルの修繕、新たに樹木維持管理業務委託 など</p> <p> ③水谷東公民館 ○公民館施設維持管理事業 ・給排水管等更生工事関連 など</p> <p> 議長：現段階では予算要求の段階だが、要求が実現できるよう頑張ってもらいたい。</p> <p> (質 疑) なし。</p>	

(2) 各地区公運審会議報告について

①鶴瀬公民館（10月26日・水曜日実施）

- ・新メンバーでの初めての会議であったため、職員体制についてと今年度上半期の事業の報告、今後の予定などについて説明を行った。
- ・協議事項としては、事業評価の担当分けの件を話し合った。そのために、事業に関する概要説明、委員さんからの事業に関しての気付かれた点などもお話しいただき、意見交換を行った。
- ・公の施設予約システムの本格稼働（抽選予約）の進捗状況の報告をする中で、意見交換を行った。
- ・利用者連合会との定期協議を行うこと前提に、今後調整を行うこととなった。

②南畑公民館（10月18日・火曜日実施）

- ・上半期の通年事業について報告し、体育祭の取り組み、子どもたち対象のナイトウォーク、青空市場などが評価された。なんばた青空市場については、昨年より参加者が多かった。
- ・今後行う、下半期事業についての報告も行った。
- ・公の施設予約システムの（抽選予約）についての説明。

③水谷公民館（9月28日・水曜日実施）

- ・公の施設予約システムの（抽選予約）についての説明を行った。
- ・親の学習講座、子ども食堂などについて多数意見をいただいた。
- ・先週末（19・20日）、文化祭があり、多くの来館者でにぎわった。コーヒーコーナーもでき、香りもよく大変好評だった。

③水谷東公民館

前回の全体公運審以降、地域の会議はなかった。

(質 疑)

委員：水谷公民館のコーヒーコーナーは、誰の発想だったのか。

館長：コーヒーが趣味の公運審委員の発想。良い香りに誘われて人が集まる企画は、成功だった。

(3) 今年度の地域・自治シンポジウムの取り組みについて

資料に沿って、次の点を報告。

① 開催期日及び会場：平成29年1月29日（日）午後1時から4時

鶴瀬コミュニティセンターホール

② 内容（全体テーマ）：学びあい、豊かで暮らしやすい地域づくりを

～つどい・まなび・むすぶ公民館と地域の協働を考える～

○基調講演：上田幸夫氏（日本体育大学教授）

○交流イベント：富士見高校演劇部「ももたともこの物語」

○シンポジウム：各公民館から話題提供

- ・鶴瀬公民館：高校生も参加した市民演劇のつどい
- ・南畑公民館：なんばた青空市場の取り組みと地域づくり
- ・水谷公民館：サロン活動を通じての地域の居場所づくりの取り組み
- ・水谷東公民館：子どもが主体の活動と公民館

(質疑・意見等)

委員：発表が発表だけに終わらぬよう、ねらいを意識して進めていただきたい。
その意味でコーディネーターの役割は大きいので、頑張ってもらいたい。

3、 協議事項

(1) 公共施設予約システムの抽選方式導入について

[事務局館館長より]

- ・水谷東公民館が既に説明会を実施した。今後各館も実施予定。
- ・平成29年4月分の予約から抽選方式を導入予定。あわせて、導入に向けての日程的な手順を説明。
- ・平成29年度の予約システムの日程表（抽選申込期間・抽選日・確認期間など）についても説明。

[協議等]

- ・委員：我々委員の中で既にシステムを使った人はいるか。
- ・委員：スムーズで大丈夫だった。
- ・館長：現在「一斉受付」に来ている人は、まだまだシステムに不慣れな利用者。現在PCサポートクラブの皆さんに「システム講習会」を行ってもらっているが、「抽選予約」が始まって利用者の皆さんをサポートしていきたい。

(2) 各公民館における事業や利用しやすい施設について(意見交換)

議長：本日は、話の内容を絞ってやっていきたい。そして、話し合ったことを各館長にも提案していきたい。

館長：一番の課題は、誰でも使える施設（ユニバーサルデザイン）。

議長：公運審委員としてはどう考えるか。公民館に来やすいということも大切。一方、子どもへの取り組みも大切。幼児期という大切な時期にお母さん支援など、今まで以上に取り組んでほしいものなどがあれば意見を出してほしい。

委員：公民館に来てほしい人は誰か、ここがぼやけてしまうと、なかなかうまくいかない。故に、絞った方が良いのでは。

議長：各館の特徴が違うので、同じものを目指すのは厳しいが……。しかし、子育てなら子育てで、同じテーマのものを各館でやってみてもよいかもしれない。そこを、公運審がサポートするなど。例えば、「子どもの家庭教育」。

委員：各館の特徴を教えてください。

鶴瀬公民館：利用の少ない層は、小中学校の子どもを持つ親の層が少ない。乳幼児を抱える親は多い。

南畑公民館：子育て支援、介護予防への取り組みは、各館共通。小中学校の子を持つ親世代が少ない。また、60代・70代より下の世代も少ない。小中学校の子を持つ親世代へのアプローチは、必要と考える。一方、新しく転入してきた人たちへの声掛けは、できつつある。また、専業農家が少なくなってきた中、「農」をテーマにした取り組みもしていきたい。

水谷公民館：今日、少子高齢化。故に、今は介護予防もポイント。一方少子化の部分でいえば、親の学びの作り直し、ここを復活させたい思いも。親どおしの話りの場を、水谷では考えている。

水谷東公民館：ねらいは、二つある。一つは小中学生の親。小中学校のPTAと共催で講座を行い、少しでも家庭教育の支援をしていきたい。もう一つは、50代・60代前半に来てもらいたい。今回、「おやじのヨガ」に取り組んでいる。一杯飲む前に来て、やってから飲んでとも言っている。定年前の層を取り込みたいが、なかなか集まらない悩みがある。

(質疑・意見等)

委員：小学生を対象にするなら放課後、中学生を対象にするなら土日にやった方が良いのではないかな。

委員：今は、子どもが育っていないというイメージがある。6～9歳で子どもの基礎ができるが、ここよりもう少し前も大切。学校で座ってられない子どももいる。塾通いの子の中には、親と話をしていない子もいる。公民館は、就学前の子の親子関係のことを取り上げてよいのではないかな。

委員：公民館は欲張り。60代・70代・80代の人が集まることは良いこと。この世代に力があることは、災害があっても力強い。

子どもに道具を使わせることもよいと思う。

今、外国人が増えている。外国人の子どもの日本語教育ができているかも気になる。言葉が分からず、大人になってから日本社会になじめなくなっても良くない。

委員：太鼓の会の仲間で、子どもたちに対して道具を使わせた取り組みをしている人がいる。かご作り、ベーゴマ大会、子どもの交流をやってみたい。

委員：水谷東で、「いかだラリー」の実行委員をしている。ここに参加する親御さんは、子どもにお友達を作ってあげようと一生懸命な人もいる。子どものことを話し合える親同士の場は大切。

委員：委員それぞれが、今日聞いたことを参考にしつつ、次回何か提案したいことがあれば、手に入る資料を持ち寄ってもよいと思う。

議長：本日は、今後のことについて多くのお話をいただいた。どうまとめていいかわからないくらい。次回もう少し、どうしたら我々が公民館活動に対してお手伝いできるかを考えられればと思う。こうしろということはできないので、私たちの発想が少しでも役立てられればと。そのためにも、もう少し深めた提案ができればとも思う。大人に視点を当てた事業、子どもに視点を当てた事業、どうしても違いはあるが、違いを認めつつ協議をしていきたい。

(3) その他

委員から、催し物の紹介。

4、 連絡事項

- (1) 次回の全体会の日程について
平成29年2月8日(水) 19:00～
会場：水谷東公民館

5、 閉会

開催地の委員よりあいさつ

